

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第6回 栃木中央地域会議
開催日時	令和7年10月14日(火) 18時41分開会～19時52分閉会
開催場所	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 1階 大交流室
出席者及び欠席者氏名	別記1のとおり
事務局職員職氏名	別記1のとおり
その他出席者等	なし
会議事項	別記2のとおり
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	なし
会議の経過(議事の要旨)	別記3のとおり

別記 1 出席者及び事務局

○出席者

会 長	下枝 順子	副会長	羽石 昌弘
委 員	有馬 小枝子	委 員	岩出 智恵子
委 員	平本 重子	委 員	水越 房代
委 員	宇佐美 沙弥香	委 員	岩出 律子
委 員	浅野 暖斗	以 上	9 名

○欠席者

委 員	大塚 未来	委 員	市川 彩乃
委 員	堀越 元樹	委 員	岡田 真由美
委 員	松本 真由美		

○事務局

【地域振興部】

青木 稔彦（地域政策課主幹兼栃木中央地域まちづくりセンター所長）

上原 尚之（地域政策課主任）

○その他出席者

別記2 会議事項（議題及び会議結果）

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

- ・地域課題の選定及び検討について

4 その他

- ・次回の開催日程について

日 時 11月11日（火）18時30分から

場 所 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 大交流室

5. 閉 会

別記3 会議の経過（議事の要旨）

発言者	議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
会長	<p>議事に入ります。</p> <p>地域課題の選定及び検討について</p> <p>事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【事務局より説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回会議までに提示された地域課題について、概ね類似するものを集約（別紙のとおり） ・ 集約された課題について、地域予算提案事業として提案したいものに投票（複数可）
会長	何か質問はございますか。
委員	F「こどもや子育て世代に関する事業」に関して、現在とちぎ市民活動推進センターで類似した事業を実施しているが、その事業との違いはどのようなのでしょうか。
委員	前回の会議で、ソフト事業の実施が難しいことから除外されたと記憶している課題が資料中に記載されていますが、復活したのでしょうか。
事務局	ご指摘の課題については、得点が基準に満たなかったものの、内容が地域予算提案事業として提案できる可能性が高いと思われることから現時点では存置しているものであります。
委員	この課題については中央地域独自ではなく、全市で共通する課題だと思います。
事務局	<p>全市で共通する課題もありますが、当該課題に関する事業を栃木中央地域において実施することを想定して検討していただくこととなります。</p> <p>他地域も含む事業とする場合、他地域会議と協議のうえ、共同提案を行うこととなります。</p>
委員	G「プレ高齢者世代の介護予防・介護実践法等に関する意識が低い」に関して、これに関連する事業は既に市の事業として実施されていると思います。
委員	高齢者を対象とする講座はあっても、50代～60代のプレ高齢者世代を対象とするものはなかったと思います。

事務局	現時点では課題の選定を行っている段階であることから、今後、具体的な事業を検討していく際に所管課等への照会により、既存事業との重複が生じないように調整を図りたいと思います。
委員	<p>E「他地域会議との協働事業」について、先日他地域会議の委員と意見交換をした際、「地域予算提案事業は予算化されるまで約2年を要することから、長期的な視点で検討できるものがあれば・・・」といった話になりました。</p> <p>こうした事業は次期での検討になってくると思いますが、今期から考えておくことも大切なのではないかと思います。</p>
委員	D「蔵や古民家を活用した事業」について、見世蔵や古民家について、何がどこにあるかがわかるとイメージしやすいと思います。
委員	地域予算提案事業として、全市を巻き込んで実施することは可能なのでしょうか。
事務局	<p>地域自治制度の見直しにより、実施することは可能となりました。</p> <p>他の地域会議の合意が必要となることから、綿密な調整が必要となります。</p>
委員	栃木中央地域という枠に縛られずに検討できるのは良いことだと思います。
委員	<p>私の経験から、高校生がまちづくりに参画するのはとても大切だと思っています。</p> <p>高校生が栃木中央地域を楽しいまちと思えるようにするため、高校生が大人とともに手を動かす枠組みができると、将来も引き続きまちづくりに関わっていくきっかけづくりになるのではないのでしょうか。</p> <p>若者のための事業を実施するまちになれば良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>市内の高校生に参加したい人を募ってその人が運営するイメージです。</p> <p>蔵ミューゼのカスタマイズに高校生の意見を取り入れると良いかと思っています。</p> <p>高校生蔵部のみなさんが旗振り役になってくれれば良いと思っています。</p>
委員	高校生が旗振り役になるのは難しい面もあるため、大学生にファシリテータに入ってもらうのも良いのではないかと思います。
委員	<p>私が高校生の頃は市内の全高校の生徒会役員が集まる交流会がありました。そのような会議ができれば良いのではないのでしょうか。</p> <p>先日、前会期の提案事業に関連して実施された栃木公民館講座「栃木の城」に参加してきました。</p>

	<p>内容がおもしろかったので、B「観光振興に関する事業」に関連付けられれば良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>今後、皆川城址も関連させて、栃木西部地域会議との共同提案事業もできれば良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>蔵の街映画祭はなぜ実施されなくなったのでしょうか。</p>
委員	<p>コロナがきっかけでした。 栃木市の全面的な協力のもと実施されていたかと思います。</p>
会長	<p>それでは投票に移りたいと思います。 欠席の委員につきましては、後日 E-mail にて投票をお願いすることによろしいでしょうか。</p>
	<p>【異議なし】</p>
会長	<p>それでは事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【事務局より説明】</p>
	<p>【投票の実施】 ※欠席の委員は E-mail にて投票</p>
会長	<p>以上で本日の議事は終了となります。</p>

別紙

「地域課題の選定及び検討について」（集約後）

	地域課題の内容	事業の一例（実際の事業案は次回以降検討）
A	栃木市の新たなお土産に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市観光のお土産の開発 ・ 駅前で購入できるお土産が少ない 	・お土産の検討会議の実施
B	観光振興に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅の観光客の目につきやすい場所でイベントの情報を掲示する ・ 駅前に蔵の街をイメージできるものがない ・ 駅前から中心部への誘導の促進 ・ 複数の観光施設合同で面的な集客が見込めるイベントの開催 ・ 観光資源の掘り起こし(開運橋・幸来橋) ・ 夜の観光マップ(大通り周辺の飲食店マップ)があったらよい ・ 五差路(戦国時代の名残とされる)を活かした事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵ミューズの更なる充実 ・駅を起点に回遊性のあるイベントの開催 ・開運・幸運をテーマにしたイベントの開催 ・駅前へのデジタルサイネージの設置 ・栃木のまちパンフレット作成事業(前会期提案)を発展させた事業の実施 ・市ゆかりの人物等のマンホールを作成し、それを活用した事業の実施
C	世代間交流または若年層に主眼をおいた事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生による蔵ミューズスタンプラリーの運営 ・ 学生が楽しめる街を目指す ・ 世代間交流が少なく、地域のつながりが希薄になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生蔵部の協力によるイベントの実施 ・多世代交流イベントの実施 ・高校生から参加者を募って事業の検討に入ってもらう
D	蔵や古民家を活用した事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 見世蔵古民家等の有効活用が必要 ・ 蔵を活かしたアートイベントの開催(映画祭等) 	・映画祭やアート展の実施
E	他地域会議との協働事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市記念日カレンダーを作成 ・ 全地域会議で協働イベントを実施したい 	・前会期の提案事業(栃木のまちパンフレット作成事業)に関連し、皆川城(西部地域)を絡めた連携事業の実施
F	こどもや子育て世代に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ こどもの権利条約やアンコンシャスバイアス等への理解促進が必要 ・ こどもに関わる人が交流できる場が少ない ・ 教職員を含め、こどもの人権への配慮が欠けた言動がみられる 	・こどもや子育てに関する連続講座の開催
G	プレ高齢者世代の介護予防・介護実践法等に関する意識が低い	・プレ高齢者世代対象の連続講座の開催
H	地域で防犯対策を行う仕組みづくり検討会の設置	・住民主体の検討会を設置、中央地域安心安全マップ作成
I	市民の大規模な体験型の防災訓練がない	・体験型防災イベントの開催
J	ふれあいバスの案内が高齢者にわかりづらい	・講座の実施、PR資料の作成
K	中学生の自転車事故防止のため、スクエアドストレイト方式交通安全教室を開催できないか	・交通安全教室の開催
L	栃木駅前の浸水時に通勤通学者への情報提供できるようにしてほしい	・ライブカメラの設置・活用